

村の世帯・人口

昭和52年 1月末日現在

総世帯数 3,387戸

人 口 14,543人

男 7,421人

女 7,122人

1月の人口移動

出生 36 死亡 5

転入 152 転出 93

婚姻 7 離婚 2



広報にしはら

発行所
西原村役場

電話(09894) ⑤ 5011
5012
5013

印刷
西原印刷



一、村政情報

- ① 昭和五十二年度議会第一回臨時議会終る………1
② 県知事に「国鉄船導入による貨物輸送について」を問う、本村―玉那覇恭子さん
―県政ひろば―………2

二、村民の広場

- ① 犯罪防止対策は村民の手で………3
② 児童生徒の成長と幸せのためにPTAは何をしたらいいか………5
③ 村青少年協会の第一回大会………5
④ 自治労西原村職労、今年も労農共闘を取り組む………6
⑤ さあ、あなたも、私も………6
⑥ 頑張り、幸い、感謝………6
村対抗少年野球大会………6

三、告知板

- ① 沖縄県復帰五周年記念懸賞論文募集要項………7
② 生活テレビくらしとあなた―三月放送………7
③ 三月の農業………7
④ 三月の行事………7
⑤ 健康メモ………7

火災は人災 防ぐはあなた！

2月、3月は火災が本村でも多いです気を付けましょう

村政情報

昭和五十一年度議会

第一回臨時議会終る

去る三月九日、午前十時から新しい年に入つての、初めての議会臨時会が開かれました。

その日提案された議案は三件で次の通り可決されました。とりわけ、第一二四号議案の東部消防組合への加入についてが、多くの議員の、いろんな角度からの審議を経て、全皆一致で可決され、いよいよ、村の消防業務は三月一日より東部消防とし

てスタートすることが決り注目されています。

●議案一二四号：東部消防組合への加入について

これは消防行政の広域化を図り、消防体制を充実強化して、救急業務、火災等の消防需要に対応するため、東部消防組合への加入に関するもの。

この議案については三度目の議会

上提であり、各議員から、業務を移向する上での消防体制の変化、あるいは移向することについての住民の意見の反映はなされているのか、職員的身分引き継ぎの問題はどうなっているのか、等が追求されました。

これに対し、宮平村長は、消防体制は東部消防移向で必ず強化される住民の理解も得てある、職員の身分移向については労組と充分話し合いをして処理して行きたいとし、採決の決果、全皆一致で、消防業務の東部消防事務組合への移向が決められました。

●議案一二五号：昭和五十一年度西原村一般会計補正予算議決について：

消防費が二百七十二万六千円補正され、補正前三千九十三万二千元が三千三百六十五万八千円とすることについての議案で原案通り可決されました。

●議案一二六号：工事請負契約締結について

これは字棚原地内の団体営一般土地改良事業排水路工事の請負契約で原案通り可決されました。

同工事は、二月十日から三月二〇日までの工期で琉建工務店（中村勝代表）が行います。契約金額は一十万円です。



議 会 よ り

県知事に「国鉄船導入による貨物

輸送について」を問う！

本村—玉那覇恭子さん

—県政ひろばで—

沖縄県の「本土並み」は国鉄導入

によってこそ始まる…と去る二月十日、金曜日、沖縄市社会福祉センターで開かれた県政ひろばで、本村の玉那覇恭子さんも、多くの質問者にまじり、力強く、県当局に意見を述べました。

あなたの声を県政に…と県が住民と県政のつながりを高めることをネライとして始められた「県政ひろば」は当日の中部地区が最終日。

その日は平良事知をはじめ、野島、屋部両副知事外全部局の最高責任者がズラリ、総勢五〇余人と、まさに一日県庁といった所。

中部地区の県政ひろばは地元、沖縄市をはじめ四市一町七村と今までにない大規模なもので、質問者の方々も三パートに分け、計十三人。会場には三〇〇人余の聴衆が詰めかけ熱気がムンムン感じられる中で各質問者の質問、そして県当局の答弁という形で進行されました。

本村の玉那覇恭子さんは第三パートで「国鉄船導入による貨物輸送について」を中心に、家庭の主婦として、日常の食生活をやりくりする中から痛感する高物価の弊害を、一日も早くなくし、せめて本土並みぐらいの物価、生活状況を実現するために一日も早く国鉄船導入を…と県の考をただしました。

県当局の答弁も、質問の主旨は十分理解できるとして県でも目下、県内交通の抜本的な対策から国鉄導入を国に働きかけており、それと合せて、玉那覇さんの提起された本土と沖縄を結ぶ国鉄船の導入についても商品の流通のみならず、旅客の便宜、経費の節減を図る上からも充分検討し対政府折衝を図りたいとのこ

とでした。

県政ひろばは予定時間をオーバーする程の盛況ぶりで閉会後、平良知事を囲んでの懇談会も持たれ行政のあれ、これについてにぎやかな話し合いが行なわれました。

国鉄導入による貨物輸送について

私が沖縄に生活して十二年。当時の沖縄は他県と比べて、まだ敗戦の傷跡を残している感が強く、四七年の本土復帰を機にどんな発展を遂げつゝある現在の沖縄の姿など想像の外だった事を記憶して居ります。

そんな沖縄の現在にあって、十年前も現在も余り変らず不満に思っている中の一つに、貨物輸送の件がありそれについて触れてみたいと思います。

私の故郷は四国の愛媛県ですが、そこから荷物を発送した場合、荷物の到着日数は、今迄の平均日数で二週間。遅くなった時などは一カ月近くかゝるという事も今迄の例からして珍らしい事ではありません。荷物の中が腐敗の心配がないものであればまだよいのですが、食糧品とか果物のように腐り易いもの場合はきがきではなく、毎日のように港へ電話を入れたり、又ひよつとして配達もれになっているのではないだろうか、直接港へ出かけて沢山の積荷の中を捜してみたり。そんな無駄な労力を幾度ついやしたか知れません。そしてやっと手元に届いた荷物の中はほとんど腐っており、或る時などその腐ったミカンの汁で、ダンボール迄しみて、箱の原型をとどめ

難く一個のミカンも口にする事が出来なかった事もありました。

そんな場合の配達料金は何の為の配達料かとずいぶん低抗を覚えます。

この様に日数がかゝっては大変という事で品物によっては航空貨物を時々利用しますが、これは日数も大巾に短縮されますが運賃面で膨大な出費が必要となり、品物一個の価格を細かく計算しますと、とても一般家庭の輸送として利用出来るものではありません。

そんな実情をみて私の母はいつも、沖縄がもう少し近くて荷物が送り易ければ、色々とふるさとの香りを送る事が出来るのにネ。とまるで外国へ住んでいる娘に云うような口調で、荷物の到着日数があまりにもかゝる事を残念がります。

北海道は愛媛県からでもずいぶん遠いですが、きくところだと愛媛県から五日もあればじゆうぶん届くそうですので、せめて沖縄の場合も一週間位で荷物の到着が可能になればと痛切に思われてなりません。

復帰後、沖縄も果物といわず野菜といわず、衣類その他何でも品物は豊富に店先を賑わせて居りますが、その値段の高い事。開きかけたサイフもあわてて閉じる始末です。本土並、という言葉を折にふれ耳にする事ですが、実際にその物価高は日本一の大都市である東京以上と云えます。私達家庭の主婦にとってまさにこの物価高は何ものにも勝る生活苦の負担を大きくして家庭生活をおびやかす最大のものです。しかしこの様な物価上昇の最大の原因を私なりに考えます時に、第一に輸送の流通機構のまずさが最大のガンとなっているのではなからうかと思うのです。各県からの品物の輸送日数が長かゝるという事は、その間の諸経費に影響し、又、腐敗の早いものと新鮮度を必要とするものに對する輸送には当然航空貨物利用となり、膨大な運賃込みの諸経費プラス、商人の利益が加算され、消費者である私達の手に届く頃には、他県では安



意見発表をする、玉那覇さん

値で味わえる四季折々の香りも庶民我々には手の届き難い高級品として、食卓を賑わすことのない高嶺の花となってしまうのです。

県内諸施設の本土並、の努力がなされているものの、地理的条件からしても離島の要素が強い中において、交通形態が現状のまゝでは、商品輸送機構の一本化が妨げられて多面化しその結果として物価高を招き易く、色々の面で県民生活に好ましくない影響を与える結果になると思ふのです。

少しでも、これらの解決の道にかながるのではないだろうかと思われ

ます事は、国鉄導入による国鉄連絡船など本土との路線の一本化をはかる事ではないかと思うのです。

そうすれば、チャッキ、小荷物なども他県同様に扱われ運賃も同率で計算されるようになり、又この国鉄導入によって沖縄と他県とのお互の商品流通機構が一本化される事でスムーズになり県内農産物の出荷も容易になり農業振興の一面にも一役買うことが出来ると思うのです。しかしこれらの成果を百%生かす為には県内の国鉄路線を導入する事が必要ですが、工事面とかその他のものもろの件で年数を要する事と思われる

すので、それまでの間の早急施策として私が思いますには、国鉄船導入と同時に、県内各市町村に国鉄貨物車駅と云ったような施設を設置して、国鉄船との連結をはかる事でより一層、スピード化された国鉄の恩恵をうけたいのです。

国鉄導入は色々の面でこれからの沖縄の振興につながり、県民の生活を安定させ、向上させる為に早急に実現して欲しい第一のものだと思います。新聞報道によりますと、琉球海運が事実上倒産と報じて居りましたが、県はこの様な問題にいかに対処されておりますでしょうか。

私はこれらの船舶を国に買上げしていただき国営の国鉄船として昇格する事を国へ強く働きかけて、沖縄県民の安全な足となって快適な暮らしが出来るよう希望しております。これからの沖縄の本当の意味での「本土並み沖縄県」は、国鉄導入によってこそ始まるものであると信じ、真の発展繁栄もここから築かれるのではないかと思えるのですが県当局の国鉄導入に対する具体的見解とそれに関連する交通機構による物価への影響などお考えをお聞かせ下さいますようお願いいたします。

村民の広場

犯罪防止対策は

村民の手で

守礼の邦、沖縄も、近年は犯罪の多発がマスコミを賑わして、その守礼の民の美德も今や地に落ちた感じが

しますが、果してそのことに無関心でいいのかどうか、最近の本村の犯

罪状況の急増ふりと合せて考えてみたいと思います。

昨年の本村の一カ年間の人口増は約一千二百人でした。ところが残念なことには犯罪の発生も多くなり、

とりわけ窃盗の増加は与那原署管内ではトップで全くふがいない記録となつています。

ちなみに昨年の与那原署管内、七町村の窃盗犯罪の発生状況を見ると

別表の通りです。本村の窃盗被害がいかに多いかがわかります。

与那原署管内における昭和五十一年中の窃盗犯の発生件数は三三二件で前年に比べ九四件（二十三％）減となっています。

昨年の沖縄県全体の窃盗犯の発生件数は、一万二千六百件でそのうち五、三％が与那原署管内で発生していることとなります。

全刑法犯の中に占める窃盗犯の割合は九十三％であり、県全体の八五％に比べると高率となっています。

窃盗犯の中でも悪質な侵入窃盗は全国平均が三十二％であるのに比べ本県は五〇％（与那原署管内は四七％）で高率を示しております。

侵入窃盗が多いということは警察力の問題とも関連すると思われますが、言えることは窃盗常習者、が多くなっているということ、反面、一般家庭の防犯設備が弱く、いわゆる鍵なし家庭が多いということにもつながります。

昭和五〇年における窃盗の主な侵入方法等について調べた結果から見ると、開けっ放し十三％、施錠設備なし四％、施錠忘れ二十二％、等が三十九％も占め、鍵破り二〇％、ガラス破り十四％、その他破壊十四％、となっています。

これから見てもわかるように窃盗犯罪は、未然防止が肝要であることがわかります。

与那原署においても窃盗犯の急増に特に注目し、各地域で防犯思想の高揚と各家庭での施錠設備の整備を呼びかけ犯罪防止につとめています。とりわけ本村における窃盗犯罪は隣接の都市からの影響をもろに受ける地理的条件、その他の社会的要因から、いっそう村民の防犯思想の高揚と、生活の中での日常的注意が必要と思われます。

本村の場合、その外に村内の人による犯罪の多発という別の特徴もあり、青少年非行防止のための地域的、家庭ぐるみの防犯への盛り上がりも

必要となっています。

住み良い家庭、環境づくりのために今

一度、わが家を見まわしてみて下さい。子供達との会話はある

ますか？家の鍵はすべて設備されて

いますか？出かけの時の戸じまりは万全です

か？一つ一つの心のチェックが窃盗等犯罪の防止

昭和51年中地域別手口別時間帯盗犯発生状況

（与那原署管内）

区 分 町 村 別	発生 総 数	手 口 別 発 生 状 況										時 間 別 発 生 状 況										計	
		忍 達 み	事 務 所 荒 し	空 店 荒 し	出 店 荒 し	小 店 荒 し	学 校 荒 し	金 庫 破 壊	工 事 場 荒 し	居 空	そ の 他	深 夜 〇 〇 〇 〇 〇	未 明 〇 〇 〇 〇 〇	朝 〇 〇 〇 〇 〇	昼 前 〇 〇 〇 〇 〇	昼 頃 〇 〇 〇 〇 〇	日 没 頃 〇 〇 〇 〇 〇	夜 〇 〇 〇 〇 〇	宵 〇 〇 〇 〇 〇	中 夜 〇 〇 〇 〇 〇	不 詳 〇 〇 〇 〇 〇		
与那原町	86	4	5	7	7	4	1		2	56	28	8	2	1	2	17	8	9	10	1	86		
南風原村	87	18	23	8	1	2	2	2	6	2	23	21	7	1	7	3	12	9	11	13	3	87	
西 原 村	83	23	8	8		3	2	2		4	33	24	8	5	4	2	11	6	12	7	4	83	
大 里 村	23	3	2	5				2	1		10	5	3			1	3	3	1	4	3	23	
玉 城 村	24	2	1	5							16	4	2	1		1	5	1	5	3	2	24	
知 念 村	15	1	2	5		1			1		5	6		1	1		3	1	2	1		15	
佐 敷 村	34	6	2	7		2	1	1		3	12	7	2	2	1	1	5	2	3	8	3	34	
計	352	57	43	45	8	12	3	8	4	13	4	155	95	30	12	14	10	56	30	43	46	16	352



防犯の為の会議が村役場ホールで開かれる

につながります。

— 西原中PTA幹部研修会より —

明るい学舎、自由な語り、無限の可能性にみちた児童生徒の教育の場として西原中学校が豊かな校風を環境をいっそう高める上で、このPTAの充実した活動の努力は、必ず生じて来るでしょう。

優勝・幸地

2 0

2 0

2 0

幸 与 我 翁 試驗場地
地 那 謝 長

自治労西原村職労 今年も労農共斗を取組む

一月二〇日より製糖期に入り、いよいよネコの手も借りたい程、忙しいのが農家の実状…。最近では人手不足が目立、一家総出のキビ出しとか、又新たに認識されてきたユイマールによるキビ出し等で何とか急場をしのいでいるようです。

自治労西原村職労（与古田光順委員長）では三年程前から全県的に提起された♪さとうきび価格要求貫徹県民総決起大会♪そして東京への一千人行動等から、沖縄県のさとうきび産業の置かれている厳しい実状を深く認識させられた、とのことでした。

そこで何とか沖縄のさとうきび産業を振興させる上で自治体に働く労働者として側面的な協力を…という問題提起をし、折から、各自自治体労働者からのこうした声が高まり、沖縄の自治労の全体として労農共斗が

スタートし、いよいよ、今年三年目に入りました。

この労農共斗、は、単なる援農的なものではないとのこと。与古田委員長の「キビ刈りを通して体ごと全組合員が農業生産者とふれ合い、農業問題を語り合うことを積み重ね、今後、ますます農業生産者と労働者が一体となって沖縄のキビ作等が希望のもてる産業として振興するための基盤整備要求の運動、斗いに役立てたい」と強調しております。

キビ刈り入の対象農家は各字の区長さん方の協力を受け、主に母子家庭を中心に六世帯を選定し二月五日から十五日にかけて行われました。

実際のところ対象世帯が、だいたいあり、組合でも、その選定に困ったとのこと。それに組合員の動員も年々休行使等の関係で一日が限度で限られた世帯となつたとのことでした。

威勢の良い労農共斗

人口増とか、会社等の進出で、農業、西原のイメージは、だいたい変化している状況にあるとも言えますが、まだまだ農業も盛んです。村内の、こうした自治労西原村職労組等のような、農業の振興を村民一体となつて考えて行こうという気運がやがては結実し、沖縄のさとうきび産業が、希望のもてる、食える価格として実現する日も、そう遠い

日のことではない、そのためにも、この労農共斗、多忙の中で、よそのことが仲々、目に入らない世情の中で明るい話題であり、その発展強化を望む村民の声は強いと言えましよう。

一度に畑を二〇人近くの働き手がうめつくす様は、まさに壮観。私たちのキビ産業が、日本の甘味資源の根幹を担う現実が来れば、どこかの畑でも、こうした風景が又、見られることでしょう。

さあ、あなたも、私も
野外キャプへ…

— 3月19日～20日 —

村青年教室では三月十九日～二〇日（一泊二日）の日程で恩納村万座ビーチで今年度の青年教室の最後をかざる野外活動を計画しています。村青年教室に少しでも興味があり今後やってみようかな？、なんて思っている方は誰れでも参加できます。

当日は、楽しい語らい、踊り、スポーツ等が計画、村青年教室で楽しい中に、勉強にもなるんだなあーと思うこと、うけあいです。

さあ、あなたも、君も、参加してみませんか。

申し込みは教育委員会（電話一五一五〇一一）です。お早めに。

三月十九日は午後二時までに村役場前集合です。

時間は厳守しましょう。

頑張れ！（幸地）
（我謝）

少年野球チーム

恒例となった、北中城、中城、西原の三村少年野球大会は、いよいよ回を重ね四回大会となり、来たる三月十三日、中城村教育委員会主催で北中城中学校で開かれることになりました。

大会に参加する本村の代表は、幸地スポーツ少年団野球チームと我謝スポーツ少年団野球チームです。

大会当日は、多くの村民が応援にかけつけ、本村代表の二チームが好試合ができるよう、期待したいものです。

頑張れ！頑張れ！にしはら。



告 知 板

沖縄県復帰五周年記念

懸賞論文募集要項

財団法人、沖縄協会（茅誠司会長）では、本県の復帰五周年を記念して次のとおり懸賞論文を募集し、今後の本県の発展に役立てる予定です。

多くの県民の方々の応募論文を呼びかけ致します。

●課題：これからの沖縄を考える
●応募枚数：四百字詰原稿用紙二〇枚前後

●締切：昭和五十二年四月二〇日
●テレビ番組
「くらしとあなた」

三月放映

毎週土曜日午前八時から八時半まで琉球放送テレビで放映されます。

●第一週：安い豆腐はお得でしょうか？

●第三週：地域の生活改善グループを訪ねて
——島根——

●第四週：保証書を考える

三月の農業

●種まきと植付

さやいんげん、きゅうり、トマト、ダイコン（春みの早生）、キャベツ、レタス、大豆、あずき、ささげ、とうもろこし、とうが、へちま、すいか、かぼちゃ、春まき縁肥の種まき。

オクラ、ナス植付

さとうきび、いも、バナナ、山い

もの植付。

夏植さとうきびの追肥、高培土

（八月植）

●手入と施肥

いもの苗床、とうもろこし、大

（火）消印まで有効

●賞金：最優秀作一編：三〇万円

優秀作一編：五万円

佳作数編：二万円

●応募資格：とくになし

●応募論文は返却しません

●応募論文の利用の関する一切の権利は、財団法人、沖縄協会に帰属します。

●発表：昭和五十二年五月十五日

（日）

豆、きゅうりの中耕、除草、株出し
きびの根切り、補植施肥、

●病害虫の防除

さとうきび（野そ、ハリガネムシ）
パイン（コナカイガラムシ）、
みかん（かいよう病、ミカンハモグリカ、ミカンハダニ）、
キャベツ（モンシロチョウ）、
ウリ類（ウリミバエ）の防除、
いも、水いも、ほうれん草玉ねぎ、
トマト、なすの防除。

三月の行事

一日：建築物防災指導月間

二日：乳児相談（午後一時、公看室）

五日：種痘（一期）↓判定、再接種

十二日（↓判定十九日）

七日：消防記念日

九日：乳児相談（午後一時、公看室）

十五日：村民税申告最終日

十六日：乳児相談（午後一時、公看室）

二〇日：交通事故〇の月運動

二一日：春分の日

二十三日：乳児相談（午後一時、公看室）

二十三日：西原中卒業式

二十四日：坂田小、西原小卒業式

二十五日：電気記念日

二十七日：第五回西原村老人クラブ

大会（総会）午後二時、西

原村役場ホール

三〇日：乳児相談（午後一時、公看室）

健康メモ

空気が乾燥して湿度が三〇%以下になるとホコリやチリが大気中に浮遊しカゼがすごい勢いで流行します。

外出先から帰えたら手をよく洗いうがいしましょう。

外で働く人達は知らず知らずのうちに免疫ができるものです。

自分が発病しないからと言って汚染されていないわけではなく家にいて抵抗力の弱い老人や幼児にうつさないよう細心の注意を払いましょう。

小さい子供をお持ちのお母さん
毎週水ようび、午後一時から村役場公看室で、乳児相談を行っています。子供さんの健康、育児についての御相談はお気軽に、どうぞ、（公看 崎浜）

国民年金保険料の四期納入は三月末日まで、お忘れなく期限内に納めましょう。

村民税の申告は三月十五日までに行いましょう。
二月十六日～三月十五日